



東京大学公共政策大学院 設立20周年記念シンポジウム EBPMと政治

公共政策分野では過去20年で政策立案の流れが大きく変化し、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠（エビデンス）に基づくEBPMを推進する流れが強くなってきている。

本シンポジウムでは、当大学院の教員に加え、現役国会議員の方々にもご登壇いただき、こうした流れの変化の中で当大学院が政策形成において果たすべき役割を展望する。

日時：2025年1月20日（月）17：30～19：00

会場：東京大学本郷キャンパス

伊藤国際学術センター・伊藤謝恩ホール

基調講演1：「GraSPPにおけるEBPM研究の取り組みについて」

東京大学公共政策大学院 院長 川口大司

基調講演2：衆議院議員 河野太郎

パネルディスカッション：衆議院議員 河野太郎

衆議院議員 浅野哲

衆議院議員 牧島かれん

東京大学公共政策大学院 院長 川口大司



ご登録はこちら